

温州ミカンの施設栽培における収穫後のせん定時期と加温後の発芽・開花						
[要約] 1月10日に加温した場合、8月上旬せん定樹及び無せん定樹は、 <u>着花</u> が多く、9月上旬せん定樹でも収量を維持するのに十分な着花量は確保できる。						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成6年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

温州ミカンの施設栽培で、39年生「宮川早生」14本を供試し、収穫後の枝しょう管理の違いが加温後の発芽、開花に及ぼす影響を検討した。

[成果の内容・特徴]

- ① 9月せん定の夏枝母枝は、発芽期、開花期が遅れ、着花が少ない（表1）。
- ② 夏枝母枝で発芽節率が低く、着花数も少ない。特に、9月せん定の夏枝母枝で着花が少ない。（表2）。
- ③ 9月上旬せん定夏枝母枝は、花重、子房重が重く、花は少なくとも収量は確保できる（表3）。

[成果の活用面・留意点]

秋季の気温が高温で推移した場合や秋芽が発生した場合など、発芽・開花の状況が変わることも想定される。

[具体的データ]

表1 せん定方法, 母枝の種類と発芽・開花

(1994年)

せん定期 時期	収穫後の 水管理	母枝の 種類	発芽期 (月.日)	満開期 (月.日)	着花 ^z 程度	新しょう ^y 発生程度
8.6	灌水	夏枝	1.17	2.5	4.0	1.0
9.6	灌水	夏枝	1.21	2.16	2.8	2.5
無せん定	灌水	夏枝	1.20	2.16	3.0	2.0
9.6	灌水	春枝	1.17	2.4	4.0	2.0
無せん定	灌水	春枝	1.17	2.4	4.0	2.0
無せん定	節水	春枝	1.16	2.2	4.5	2.0

^z 1:極少, 2:少, 3:中, 4:多, 5:極多の 5段階評価

^y 1:少, 2:中, 3:多の 3段階評価

表2 せん定方法, 母枝の種類と発芽率及び着花程度

(1994年)

せん定期 時期	収穫後の 水管理	母枝の 種類	発芽率 (%)	全節数 当たり 着花率 (%)	発芽節数 当たり 着花率 (%)	母枝 当たり 着花数
8.6	灌水	夏枝	63.9	70.7	108.7	6.1
9.6	灌水	夏枝	49.9	41.7	81.7	3.4
無せん定	灌水	夏枝	48.9	63.2	104.9	6.6
9.6	灌水	春枝	67.4	108.2	154.0	7.5
無せん定	灌水	春枝	85.4	170.3	190.7	11.7
無せん定	節水	春枝	88.3	134.0	151.3	9.1

表3 せん定方法, 母枝の種類と花の大きさ及び収量

(1994年)

せん定期 時期	収穫後の 水管理	母枝の 種類	花重 ^z (g)	子房重 ^z (g)	子房 割合 (%)	1樹 当たり 収量 (kg/本)
8.6	灌水	夏枝	27.8	2.69	9.7	140
9.6	灌水	夏枝	32.7	4.04	12.4	147
"	"	春枝	28.8	3.03	10.5	
無せん定	灌水	夏枝	27.8	3.64	13.1	148
"	"	春枝	28.3	2.71	9.6	
無せん定	節水	春枝	25.6	2.30	9.0	135

^z 50花当たり重量

[その他]

研究課題名: ハウスみかんの樹勢強化と休眠機構の解明

予算区分: 県単

研究期間: 平成6年度(平成6年~8年)

研究担当者: 濱口壽幸, 岸野 功

既発表論文等: 平成6年度 長崎県果樹試験場業務報告。

残された問題点: せん定方法, 時期及び加温時期と加温後の発芽, 開花との関係について, 引き続き検討する必要がある。